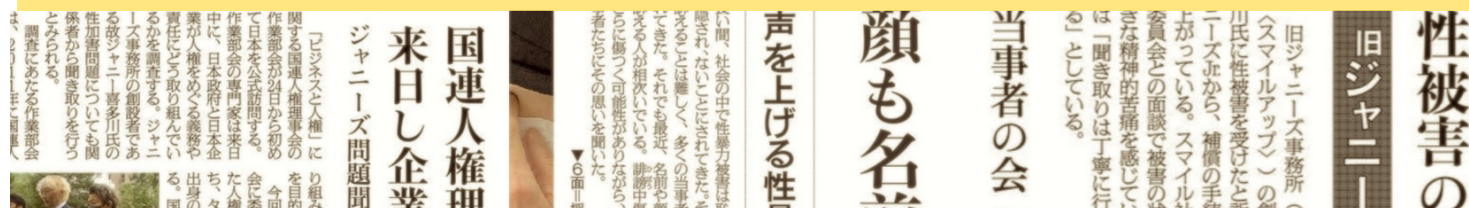


性被害と報道

ー 旧ジャニーズ問題を糸口に ー

講師：大久保真紀（朝日新聞編集委員）

1987年朝日新聞社入社。支局勤務を経て、東京本社社会部などに在籍。中国残留邦人や虐待を受けた子ども、冤罪被害者など「声なき声」に耳を傾ける取材を重ねる。鹿児島総局次長として取材を指揮して警察の違法捜査を明らかにした志布志事件報道が2007年度早稲田ジャーナリズム大賞、取材班キャップを務める「子どもへの性暴力」シリーズが20年度新聞労連ジャーナリズム大賞。21年度日本記者クラブ賞受賞。著書に『中国残留日本人』『児童養護施設の子どもたち』『献身 遺伝病FAP患者と志多田正子たちのたたかい』『ルポ 児童相談所』など。



公開授業聴講方法

◎ 学外のかたは下記のように聴講申し込みをお願いします。

往復葉書の往信部分に、氏名・住所・電話番号・メールアドレス・参加人数（2名まで）を記して、〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2-3-1 北星学園大学教育支援課「メディアと社会」公開授業係まで、6月7日〆切（必着）にてご送付ください。先着40名様まで。受講の可否等の詳細は、返信葉書にて連絡します。

◎ 本学の学生・教職員は自由にご参加ください。

北星学園大学では、2007年度より、大学共通科目として「メディアと社会」（朝日新聞連携科目）を開講しており、2023年度からの新カリキュラムでは経済学科専門科目として継続しています。朝日新聞社の道内外の記者やHTB（北海道テレビ放送）のかたがたにオムニバスで講義いただいている「メディアと社会」では、全15回のうちの1回を公開授業としておりましたが、コロナ禍で公開授業の開催が途絶えておりました。今回、毎年ご出講くださっている大久保真紀さんの講義により、公開授業を再開することとなりました。ぜひ、ご聴講ください。

6/14(金)
13:00～14:30
北星学園大学 A館
A305教室
(東西線大谷地駅 徒歩5分)